



キーマッセージ： 個人の衛生管理

私たち一人ひとりが簡単な衛生管理を行うことで、**COVID-19**の感染拡大を防止することができます。国連は下記の4点を特に重要なポイントとして挙げています。

1. 手洗い
2. 顔を触る回数の削減
3. 口や鼻などの呼吸器官の衛生管理
4. 外出自粛

各項目について詳しくは[こちら \(英語\)](#) から

インスピレーション

- [#SafeHands](#) チャレンジ (#手洗いチャレンジ)
- [歌いながらの手洗い](#)
- 「[好きな曲で覚える手洗い](#)」 インフォグラフィック
- [コロナ打倒DAB](#) (ダンスポーズで咳エチケット)
- [#NoHandshake](#) (#No握手) [代替案 - 握足](#) (足タッチ)
- [顔を触らないようにする方法](#)

既存の国連アセット：[こちら \(英語\)](#) から

トクマナ：事実に基づく、教育的、アップテンポ、陽気、個人・公共の衛生管理



キーメッセージ： 身体的距離の確保

身体的な距離を保つこと

咳・くしゃみをしている人と2メートル以上の距離を保ちましょう。

なぜ？ 咳やくしゃみをするると細かい飛沫が飛び散ります。その飛沫にはウイルスが含まれている可能性があります。咳・くしゃみをした本人が感染者だった場合、あまりにも近い距離にいと飛沫を飲み込み、ウイルスを身体の中に取り込んでしまう恐れがあります。また身体や物の表面についた飛沫から感染することもあります。個人の衛生管理が重要なのはこのためです。

勧告の出ている地域では、なるべく外出を自粛し、集団で集まったり、高齢者や疾患を持つ人など、より脆弱な立場に置かれた人と集うことを避けましょう。

インスピレーション

- 外出自粛中の[ベランダでのコンサート](#)
- コロナウイルスの啓発を目的として[アフリカのアーティスト達が作ったキャッチーな歌](#)
- 身体的距離の重要性：[マッチ](#)
- [インドの挨拶ナマステがグローバルに](#)
- [ビヨンセ「ホームカミング」再鑑賞パーティ](#)
- [Together, At Home](#) コンサートシリーズ - [参加方法](#)
- WHO [説明動画](#)

トクマナ：事実に基づく、教育的、共通の人間性、共通の体験、集団的ウェルビーイング、心と身体の健康



キーマッセージ： 症状の理解

発熱、咳、息苦しさなどの症状がある場合は早めに受診しましょう。具合が悪い場合は外出を控えてください。熱や咳、息苦しさなどの症状がある場合は、早めに診察を受けてください。その際、受診前に医療機関に電話で相談してください。また地域の保健・医療当局の指示に従ってください。

なぜ？ 国や地域に関する最新情報を把握しているのは、その国や地域の当局です。医療機関に受診前に電話で相談することで、最適な医療施設・手順の案内を受けることができます。これは自分を守るためだけでなく、COVID-19や他の感染症の拡大を防ぐこととなります。

注意：これは3月18日時点で推奨している内容です。

インスピレーション

- [「Covid-19がインフルエンザよりもひどい理由」](#)
- WHO [説明動画](#)
- CDC [記事](#)

トクマナ：事実に基づく、教育的、プロフェッショナル、煽らず合理的に、冷静さ、心強さ



キーメッセージ： やさしさの伝染

第二次世界大戦以降最悪の世界規模の危機を迎え、全人類、特に貧困層や脆弱な立場に置かれている人々が危険な状況に置かれる中、排外主義が政策化し、恐怖心を煽るようなデマが蔓延する今、我々は共にグローバルな団結を強め、やさしさの伝染を広げていきます。

目的

- ナラティブの再構築：パンデミックに対抗するために世界が一致団結して協力する必要性を強調
- 大小を問わず、国内外問わず、人間性のある行動を取り上げそれを発信し、促進する
- 強靭性・復興に向けた解決策を促進 ([SDGs](#)とつなげながら)

インスピレーション

- 優しいカナダ人による「[思いやりの普及](#)」 - BBC
- [備蓄するなら「LOVE」](#) - Priyanka Chopra
- [自粛隔離している隣人への手助けはがき](#) - BBC
- [世界的な危機の中「人類の最高さ」の例](#) - Upworthy
- [10日前の自分へのメッセージ \(イタリア\)](#) - The Atlantic
- ノルウェー首相による[こどものための記者会見](#)
- [#Coronavirus時代の団結と強靭](#) - UN

トンマナ：共通の人間性、心の健康、思いやり、連帯、エンパワーメント、偏見への対抗、包摂、喜び



キーメッセージ： 迷信への対抗

「恐怖心」と「誤情報」は我々が乗り越えなければならない最も大きな問題のうちの二つです。これらを流行させてはいけません。

誤ったアドバイス、陰謀説、特定の集団を差別する扇動的な主張など、多くの誤情報が広がり続けています。

「我々の今の最大の敵はウイルスそのものではなく、恐怖心、噂、そしてスティグマ（偏見や差別）である」（WHOテドロス事務局長）

インスピレーション

- [WHO：迷信や不安に対するアドバイス](#)

トシマナ： 事実に基づく、心強さ、有益な情報、合理性、オーディエンスとの関連性、思いやり



キーメッセージ： 更なる行動、寄付を

COVID-19 連帯対応基金（Solidarity Response Fund）は、WHOが国連財団およびスイス慈善基金会と共に立ち上げたものです。この基金を通して、世界中の個人、団体、企業はWHOによるCOVID-19への対策に寄付できます。この基金は、個人や企業が今回の感染拡大へのWHOの対策に寄付することができる最初で唯一の基金です。

本基金が支援するWHOの対策は下記の通りです。

- ウイルスの広がり方の調査分析
- 患者に必要な治療が行き届くための対策
- 最前線で闘う関係者に必要な物資・情報を届ける
- ワクチン、検査、治療の開発を加速させる

インスピレーション

- 通勤代を寄付（電車・バスの運賃、車のガソリン・駐車代）
- 毎日のコーヒー・ランチ代を寄付
- 社員からの寄付金に企業が同額を加えて寄付する「マッチング」キャンペーン
- 宗教団体による活動

リソース

- #StopTheSpread
- #AloneTogether (VIACOM/CBS)
- Together, At Home (Global Citizen)
- 既存のメッセージやリソースのまとめは[こちら（英語）](#)
- 公共広告の台本例はこちら

トンマナ：エンパワーメント、思いやり、連帯、小さな行動の積み重ねが大きな影響になる